

新型コロナウイルス対策のためイベントなどを中止する場合があります。※指定管理者ホームページでお知らせします。

- ◎市民体育館
☎ 987・7570、FAX 987・2909
- ◎市民温水プール
☎ 980・5757、FAX 980・5775
- ◎スポーツ推進課
☎ 987・7571、FAX 987・8550
☎ 411・0033 文教町2・10・57
⑥指定管理者ホームページ
<https://www.sports-info.jp/>

【凡例】 時とき・場場所・内内容・講講師・費費用（記載なしは無料）・対対象・定定員・持持ち物・注注意事項・申申込み（記載なしは不要）・問問合せ

8月の休館日

- 市民体育館（体育施設全般）
▼終日…8月17日（月）
- 市民温水プール
▼終日…8月17日（月）
▼夜間…8月10日（月・祝）

グラウンド抽選会（10月分）

- 8月31日（月）（会場：市民体育館）
▼長伏A（日中）、長伏C、錦田
グラウンド…午後6時30分

- ▼ナイター7施設…午後7時
 - ▼南二日町人工芝…午後7時30分
 - ※北上グラウンド、南二日町多目的広場、長伏Bグラウンドの抽選は、インターネット上で実施。抽選に参加するためには、事前に設定が必要です。希望者は市民体育館窓口にお越しください。
- 問市民体育館

長伏・上岩崎プールの開放期間
時 9月6日（日）まで
午前9時～午後6時

8月の予定

休場日 8月17日（月）
次の日程は午後4時まで

8月10日（月・祝）

費 大人150円、子ども50円
注 プール敷地内は、全面禁煙
※感染症拡大防止のため、入場について制限を設けています。

詳細は指定管理者のホームページでご確認ください。

問 長伏プール ☎ 977・3800

問 上岩崎プール ☎ 988・6111

問 営業時間外は温水プール
☎ 980・5757

生活筋力向上ゆくりプログラム

時 8月11日（火）、18日（火）、25日（火）、9月1日（火）、8日（火）、15日（火）、29日（火）
午後1時～2時
場 市民体育館2階大会議室

内 日常生活に必要な筋力を向上させる運動プログラムを実施
費 500円※当日支払い
対 40～80歳までの人

定 15人※応募多数時抽選
落選者に電話連絡

申・問 9月分は8月18日（火）より

受付開始、直接または電話で、市民体育館

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。
掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。
◎広報情報課 ☎ 983・2620

求職者職業訓練

「医療事務スタッフ養成科」受講生募集
時 9月28日（月）～11月27日（金）（土曜・日曜日、祝日と平日の一部休み）午前9時10分～午後3時40分
場 二チイ学館沿津校（沿津市大手町3・8・23）
内 医療事務、調剤薬局の基本作業を学ぶ
費 受講料無料※別途テキスト代
対 ハローワークで求職申し込みをしている失業者
定 15人※選考あり
申 8月27日（木）までに住所管轄のハローワーク
問 二チイ学館沿津校 ☎ 954・1501

秋季ソフトテニス教室 三島ソフトテニス協会

時 8月26日～11月18日（毎週水曜日）
午後6時30分～8時30分
場 市民体育館 文教コート
対 小学生以上
費 4,000円（10回）
内 ソフトテニスラケット、シューズ
申 8月26日（水）コート入り口で受付
問 大庭 ☎ 080・2615・6911

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

歴史の小箱

No.387

三嶋大祭りの今昔

今年の三嶋大祭りは新型「コロナウイルス」の感染予防と拡大防止のため中止が決定しました。なお、三嶋大社での神事は執り行う予定となっています。今月はこの「三嶋大祭り」について紹介します。

一般には大社のお祭りとして親しまれている三嶋大社例大祭とつげ祭り（本祭に付けて行う祭り）は、毎年八月十五〜十七日の三日間で執り行われます。祭りの催し物の中には、手筒花火や人長舞・浦安舞といった三嶋大社に残る伝統的な芸能や、頼朝公旗挙げ行列、流鏝馬祭などの数多くの催しが行われます。また、三嶋大祭りの大きな特徴である当番町持ち回りの「山車引き回し」と、その山車上で囃す「しゃぎり」、大鳥居玉垣前で行う「子どもしゃぎり」は観客を魅了しており、市民参加の伝統芸能の披露として意義あるものとなっています。

三嶋大社では古くから、元は旧暦四月・八月・十一月の酉の日に大祭が催行されてきましたが、明治四年（一八七二）官幣大社に列するにあたって八月十六日が例祭日と定められました。なお、四月・十一月の大祭はそれぞれ十六日に春・秋の酉祭として今日も続いています。

現在も祭りを賑わす山車の引き回しが始まったのは、江戸時代前期のことです。三島宿中の祈禱のため、山車を引き出す許可をしたという寛文九年（一六六九）の証文が残されています。また、江戸時代後期にはそれまで各町それぞれに参加していたものを、現在のように当番町を決め、秩序立てて参加する取り決めをしています。

本格的にこの祭りが一般民衆の祭りへと変貌した契機は、昭和二十年（一九四五）の終戦にあります。戦前までは「明神様の祭り」として主催は三嶋大社が執り行っていました。しかし、昭和二十一年、三嶋大社が宗教法人としての道を歩むこととなったことを契機に、祭りの主催・運営は市民の手にわたりました。

戦後占領政策により昭和二十一年は神道としての例大祭に

市民が参加することは許可されず、翌二十二年から商工会議所が主軸となって「三島商工まつり」と銘打ち実施されたといわれています。二十五年には主催が氏子会に移り、当時の新聞では「三嶋大社夏まつり」と呼ばれています。その後、昭和三十年になると氏子会では従来通りの開催が難しくなったというところで、その年に限り「大祭り奉賛会」を立ち上げて催行し、翌年からは「大社大祭り協議会」が主催となります。そして平成十年から今日まで町内会連合会を主体とする「三島夏まつり実行委員会」が三島の夏祭りを主催しています。

平成二十九年、三島夏まつりが「三嶋大祭り」に改名しました。「歴史・文化・伝統」を重んじた祭りとして生まれ変わり、より市民総出の祭りの色を強めたのではないのでしょうか。



▲三島新聞 (S29.9.14 付)

ぼくの

おじいちゃんおばあちゃん

当番 わたなべ ゆうせい さん

おじいちゃんおばあちゃんの尊敬できる所は、ご飯がすっごくおいしい所。おじいちゃんはこわれた物を何でもなおせる所。おばあちゃんはぼくたちがいない時に、家をきれいにしてくれるところ。すごい所は、二人とも年寄りとは思えないほどてきぱき動いてぼくたちより動きが早い所です。

大切にしていることは、家族みんなに元気になってもらうことだと思います。いつも、おいしいごはんを作ってくれてありがとう。これから長生きして、元気でいてね。



渡辺 勝寿 (59才) 恵美子 (69才)
渡辺 勇翔 (長伏小僧)